

地域医療構想における対応方針

医療機関番号

37

医療機関名：伊那中央病院

1. 自院の現状

(1) 許可病床数（令和7年（2025年）7月1日時点）

①病床の種別毎の病床数

| 合計  | 一般病床 | 療養病床 | 精神病床 | 結核病床 | 感染症病床 |
|-----|------|------|------|------|-------|
| 394 | 390  | 0    | 0    | 0    | 4     |

②病床機能毎の病床数 ※一般・療養病床のみを算定

| 合計  | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休棟中 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|
| 390 | 112   | 242 | 36  | 0   | 0   |

(2) 医師・看護職員の職員数（令和7年（2025年）7月1日時点）

| 職種 | 医師 |      | 看護師 |      | 准看護師 |     | 看護補助者 |     |
|----|----|------|-----|------|------|-----|-------|-----|
| 形態 | 常勤 | 非常勤  | 常勤  | 非常勤  | 常勤   | 非常勤 | 常勤    | 非常勤 |
| 人数 | 85 | 17.3 | 391 | 31.3 | 5    | 0.9 | 55    | 7.2 |

(3) 診療科目（令和7年（2025年）7月1日時点）

内科、腫瘍内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科（胃腸内科）、腎臓内科、脳神経内科、外科、呼吸器外科、心臓・血管外科、乳腺内分泌外科、消化器外科（胃腸外科）、脳神経外科、整形外科、形成外科、美容外科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科

(4) 自院の特徴と課題

①特徴

地域医療支援病院、地域医療人材拠点支援病院、救命救急センター、災害拠点病院、周産期母子医療センター、小児地域医療センター、地域がん診療連携拠点病院、**第二種感染症指定医療機関**の指定を受け、主として地域の高度急性期・急性期を担っており、かかりつけ医療機関からの紹介患者について、入院・手術などの対応を主としている。  
救命救急センターであり、同時に院内に地域救急医療センターを併設しているため、2次・3次のみならず、救急患者の受け入れを行っている。

②課題

医療圏としても医療従事者が少ない圏域であり、当院としても確保に苦慮する職種がある。  
医師の確保については、**整形外科医**及び救急医が特に不足しているほか、いくつかの診療科でも確保しきれていない。今後、医師の働き方改革で定められた要件によっては、さらに不足感が強まることが想定される。  
地域としての救急医療の対応を進めていくこと。

2. 今後の方針

<確認方法等>

- 従前作成いただいた対応方針について、最新のR7病床機能報告の内容を反映させていただいたものとなっています。
- 内容を御確認いただき、更新が必要な場合には、**赤字**修正の上、御提出をお願いします。（**更新箇所の数式は削除し、赤字で上書き修正をお願いします。**）
- 回答欄が不足する場合、「セルの幅や高さ」を調整してください。**行や列の追加はしないでください。**
- 更新や修正が無い場合には、連絡不要です。**

<留意点>

- 注意事項を吹き出しで欄外に記載しておりますので、確認をお願いします。

【注意事項】

” 1. 自院の現状”  
⇒令和7年（2025年）7月1日時点での内容に修正等があればご対応ください。

(1) 自院の今後の方針  
2030年を見据え、貴医療機関が圏域の中で担う役割について以下から該当するものを選択いただくとともに、具体的な今後の方針について記載してください。（該当する役割すべてに「○」、そのうち主たる役割を1つ選択のうえ「◎」を記載願います。）

| 今後の圏域における役割                                                                           | 回答欄 |
|---------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| ① 重症の救急患者への対応や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う医療機関                                          | ◎   |
| ② 救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する急性期医療を担う医療機関                                                | ○   |
| ③ 在宅や介護施設等で急性増悪した患者（サブアキュート）や、急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者（ポストアキュート）の受入機能を担う地域包括ケアの拠点となる医療機関 |     |
| ④ 回復期リハビリテーション医療を提供する医療機関                                                             | ○   |
| ⑤ 長期にわたり療養が必要な患者（重度の障がい者（児）を含む）に対する入院医療を担う医療機関                                        |     |
| ⑥ 特定の診療に特化した役割を担う医療機関（例：産婦人科、精神科 等）                                                   |     |
| ⑦ かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う医療機関                                                  |     |

【具体的な今後の方針】  
※病床削減による地域への影響について追記（例：休床を削減or稼働率が低いため影響なし、介護医療院への転換 等）

・高度急性期及び急性期機能については、地域の医療需要や医療資源等を踏まえ、当地域における急性期拠点病院として必要な病床規模への適正化を進めていきたい。  
・一方で、急性期治療後の患者に対応するため、回復期機能を一定規模維持するとともに、地域の医療機関との機能分化や連携を推進することにより、地域全体で切れ目のない医療提供体制を構築し、持続可能な地域医療の確保を目指す。  
・令和6年度に上伊那医療圏地域医療構想調整会議で示された地区診断結果によると、急性期医療需要は2020年にすでにピークを迎えたとされている。  
・今回の病床削減は、稼働状況が低い病床を削減するという考え方であり、削減規模も小さいことから、当院が地域で果たす役割に影響はないと考える。（令和7年度1日当たり入院患者数：300.5人/日、最大稼働病床数：357床）

【注意事項】  
”具体的な今後の方針”  
⇒病床数適正化緊急支援事業により病床数を適正化したのち、今後より強化していくことや、地域で果たす役割等に見直しがありましたら、記載をお願いします。

(2) 今後の非稼働病床への対応  
①非稼働病床の有無（2025.7.1時点）

|          |
|----------|
| 非稼働病床の有無 |
| 無        |

②非稼働となっている理由  
※ 上記設問の(2) ①にて、非稼働病床が「有」となっている場合に回答

|  |
|--|
|  |
|--|

【注意事項】  
”（2）今後の稼働病床への対応”  
⇒①にて非稼働病床の有無が「有」となっている場合、②～④の御確認をお願いします。

③非稼働病床における今後の方針  
※ 上記設問の(2) ①にて、非稼働病床が「有」となっている場合に回答

| 方針  |                                           |
|-----|-------------------------------------------|
| 再稼働 | ←再稼働する場合、再稼働後の病床機能を選択（一部のみ再稼働する場合もこちらを選択） |
| 廃止  | ←廃止する場合、こちらを選択（非稼働病床を全床廃止する場合のみ選択）        |
| 検討中 | ←非稼働病床の方針が未定の場合のみ選択                       |

④【再稼働】を選択した場合：再稼働後の当該病棟における役割等を記載（担う役割、医療従事者の確保見込み等）

【検討中】を選択した場合：方針が決まらない要因、いつまでに方針が決まる見込みかを記載

※ 上記設問の(2)、③にて、「再稼働」・「検討中」を選択した場合に回答

(3) 今後の許可病床数の予定

| 病床機能      | 削減前<br>(A) | 削減後<br>(B) | 現在との差<br>(B-A) | 変更時期 1<br>(※) | 2030年<br>(C) | 現在との差<br>(C-A) | 2025年との差<br>(C-B) | 変更時期 2<br>(※) |
|-----------|------------|------------|----------------|---------------|--------------|----------------|-------------------|---------------|
| 高度急性期     | 112        | 110        | -2             | 2027年3月       | 110          | -2             | 0                 |               |
| 急性期       | 242        | 224        | -18            | 2027年3月       | 224          | -18            | 0                 |               |
| 回復期       | 36         | 32         | -4             | 2027年3月       | 32           | -4             | 0                 |               |
| 慢性期       | 0          | 0          | 0              |               | 0            | 0              | 0                 |               |
| 休棟        | 0          | 0          | 0              |               | 0            | 0              | 0                 |               |
| 廃止        |            | 0          | 0              |               | 0            | 0              | 0                 |               |
| 介護施設等への転換 |            | 0          | 0              |               | 0            | 0              | 0                 |               |
| 合計        | 390        | 366        | -24            |               | 366          | -24            | 0                 |               |

※ 左欄で「0」以外の数値が入っている欄に変更予定時期を記入してください。(記入例：2027年3月)

【注意事項】  
” (3) 今後の許可病床数の予定”  
⇒病床の種別として、” 一般病床” 及び” 療養病床” のみを算定してください。  
(A) に削減前、(B) に削減後の病床数を入力ください。

【注意事項】  
” (3) 今後の許可病床数の予定”  
⇒「現在との差」部分に0以外の数値が表示されている場合には、「変更時期」部分に“年月”の記載をお願いします。(例) 2027年3月等